

平成29年度行政評価委員会 議事要旨

会議名	第6回葛飾区行政評価委員会第二分科会
開催日時	平成29年8月10日(木) 午後2時から4時まで
開催場所	葛飾区役所5階 庁議室
出席者	【委員6人】 小松原会長、折登委員、西山委員、浅野委員、石井委員、上村委員 【欠席1人】 谷本委員 【区側9人】 事務局(政策経営部長、経営改革担当課長、事務局職員4人)

会議概要

1 開会

(事務局より資料の確認)

2 事務事業評価

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

(前回までの議論を踏まえて、答申内容のとりまとめ)

- A 委員 : 他事業において介護予防に取り組んでおり、C型サービスとして介護予防をする必要はないと考える。また、短期で介護予防を実現すること自体難しいと思う。
- B 委員 : 同感である。コスト面から考えても、この事業では、A型サービスに集中してほしい。
- C 委員 : しかし、ひきこもりにならないよう、居場所づくりとしての事業も重要だと思う。
- D 委員 : C型サービスに代わるものがあるため、そうした事業を充実していく方がよいと考える。
- E 委員 : いきいき元気事業において行っている運動などは、良い取組なのかもしれないが、対象者が偏っているなど、課題が多い。
- 小松原会長 : 他の自治体も、C型サービスとして実施している事業の多くについて、廃止を検討している。A型サービスは引き続き実施し、C型サービスは実施せず、一般介護予防事業をできる限り広げるべきと

して、「改善」としてとりまとめたい。

(2) ひとり親家庭自立支援（就労支援）

(前回までの議論を踏まえて、答申内容のとりまとめ)

小松原会長：これまで、就労相談につながる入口を広げる観点からも、カフェやサロンを開催してはどうか、という意見があった。一方で、心理面での相談や家庭相談と、プログラムの策定やハローワークとの連携といった取組みとを分離して、前者の機能の担い手としてカフェ等を活用して、コストを効率化してはどうか、という意見もある。

A 委員：カフェの開催にもコストがかかるので、必ずコストの効率化につながるかは疑問である。

E 委員：家庭状況や心理面での相談を聞いてもらって、落ち着いてから就労に関する相談をする、という面が多分にあると思う。それぞれの相談を切り離すことは、現実的には困難ではないか。

C 委員：サービスの質は引き続き向上を目指すべきで、コストの効率化というよりもむしろ、必要に応じて相談員を増やすことも視野に入れて良いと考える。夜間の相談受付も検討してほしい。

小松原会長：ニーズを把握しつつ、様々なメディアを活用して事業のPRをするなど、引き続きサービスの質の向上を図るべきとして、「改善」としてとりまとめたい。

(3) 葛飾区認定製品販売会事業

(前回までの議論を踏まえて、答申内容のとりまとめ)

小松原会長：これまでの議論は、新規の出店がなかなか見込めない状況であるとする、普及を目的とする以上は、少しコストが増しても、開催場所や時期を変えて試行していくべきだろう、という流れだった。

E 委員：販売促進を図るという事務事業の目的に資する実施内容にはなっている。

A 委員：さらに来場者や売上を増やすことを目指すのであれば、ターゲットを絞って開催してみるなど、発想を変えてみるべきだと思う。柔軟な発想が必要ではないか。

小松原会長：新たな試みも検討すべきという方向性で、「改善」としてとりまとめたい。

4 その他

(事務局より事務連絡)

5 閉会